

平成24年度第4回森林の未来を考える懇談会資料

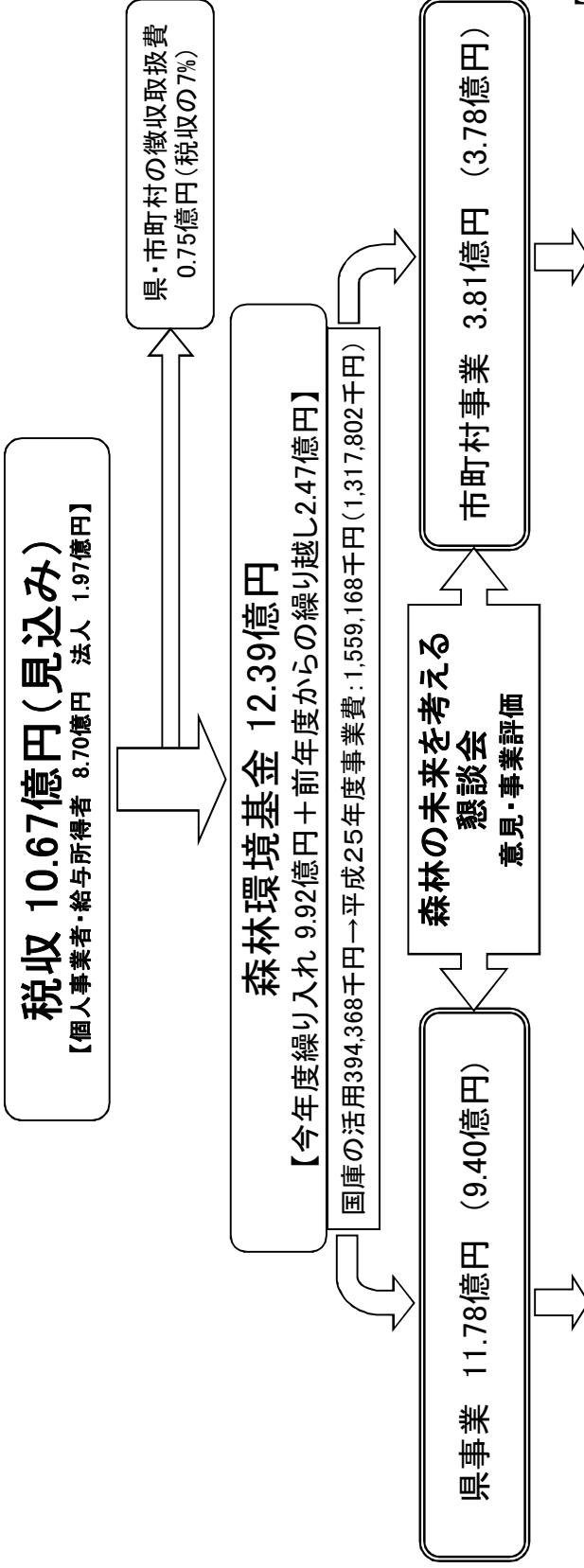
平成25年度の 森林環境基金事業概要について

- 平成25年度森林環境基金事業の枠組み(当初予算)
- 平成25年度(当初予算)森林環境基金充当事業一覧表
- 平成25年度森林環境基金事業の概要(当初予算)
- 平成25年度新規事業の概要
 - 1 森林とのきずな^{もり}再生事業
 - 2 森と住まいのエコポイント事業
 - 3 地球と森林を守る指導者養成事業

平成25年 3月26日

福島県農林水産部森林計画課

平成25年度森林環境基金事業の枠組み(当初予算)



【単位:千円】

森林環境を保全するための事業	森林づくりの意識を醸成するための事業
森林環境の適正な保全 1,126,330 (888,260) 724,769 (705,179) ・水源かん養など機能の低下が懸念される森林整備等 ・森林GISの整備による森林情報の高度化、共有化 ・施業集約化を促進するための支援 森林資源の活用による持続可能な社会づくり 401,561 (183,081) ・間伐材の搬出・運搬支援 ・森林整備を促進するための路網整備 ・木質バイオマス利用促進 ・CO2削減と風評払拭に向けた県産材の普及PR ・需要拡大に向けた県産材の活用促進支援	52,054 (51,503) 県民参画の推進 38,848 (38,032) ・森林環境学習に必要なフィールドの整備、指導者の養成 ・森林ボランティアの養成、森林ボランティアネットワークの運営等 ・県立学校における森林環境学習等 ・森林環境情報の発信や森林づくり活動の浸透・拡大 ふくしまの森林文化の継承 8,154 (5,281) ・県内の森林文化の調査、継承に向けた公開体験等 森林環境の調査 3,528 (4,400) ・森林整備による公益的機能や木材利用による効果等の調査研究 森林環境基金の運営 1,524 (3,790) ・森林環境基金事業の県民への広報、懇談会の開催等

森林環境を保全するための事業	森林づくりの意識を醸成するための事業
森林環境交付金事業【地域提案重点枠】 185,376 (177,060) 86,376 (78,060) ・市町村独自の優れた提案事業に重点的に取り組む財源 (事業の対象分野) ア 県産材の利活用推進 イ 木質バイオマスの利活用推進 ウ その他 99,000 (99,000) ・森林整備促進事業 ・間伐材の搬出・運搬支援	森林環境交付金事業【森林環境基本枠】 195,408 (200,979) 195,408 (200,979) ・全ての市町村が継続的に森林づくりに取り組む財源 (事業の対象分野) ア 県民参画の推進 イ 森林の適正管理推進 ウ 森林環境学習の推進 エ 森林整備の推進

()は平成24年度当初予算

平成25年度(当初予算)森林環境基金充当事業一覧表

平成25年3月26日 森林計画課
単位:千円

事業名	担当課(室)	H25年度当初予算		H24年度当初予算		増減		基金繰入 対前年比 (a)/(b)	備考
		計	財源内訳 基金繰入金(a) 国庫等	計	財源内訳 基金繰入金(b) 国庫等	計	財源内訳 基金繰入金 国庫等		
森林環境の適正な保全		817,769	637,089	798,179	603,849	19,590	33,240	105.5%	
森林整備事業(森林整備促進事業含む)	森林整備課	746,538	596,008	722,138	571,608	24,400	24,400	104.3%	
森林整備地域活動支援交付金事業	森林計画課	45,225	15,075	65,700	21,900	△20,475	△6,825	68.5%	
森林環境適正管理事業	森林計画課	23,256	23,256	8,641	8,641	14,615	14,615	269.1%	
花粉の少ない森林づくり事業	森林整備課	2,750	2,750	1,700	1,700	1,050	1,050	161.8%	
森林資源の活用による持続可能な社会づくり		407,561	193,881	189,081	189,081	218,480	4,800	102.5%	
間伐材搬出支援事業	林業振興課	112,500	112,500	97,500	97,500	15,000	15,000	115.4%	
森林整備促進道路整備事業	森林整備課	37,500	37,500	30,240	30,240	7,260	7,260	124.0%	
ふくしまの低炭素社会づくり推進事業		243,641	29,961	48,304	48,304	195,337	△18,343	62.0%	
カーボン・オフセット(もりもり)元氣事業	森林保全課	304	304	304	304	0	0	100.0%	
緑の住宅普及支援事業	林業振興課	4,657	4,657	3,000	3,000	1,657	1,657	155.2%	
森を木つつかうふくま住まいる事業	建築指導課	0	0	45,000	45,000	△45,000	△45,000	皆減	
【新】森と住まいのエコポイント事業	建築指導課	238,680	25,000	0	0	238,680	25,000	皆増	
もつと木と木つつかい推進事業	林業振興課	13,920	13,920	12,200	12,200	1,720	1,720	114.1%	
カーボン・オフセット普及促進事業	環境共生課	0	0	837	837	△837	△837	皆減	
市町村が行う森林づくり等の推進		281,784	281,784	279,039	279,039	2,745	2,745	101.0%	
森林環境交付金事業	森林計画課	281,784	281,784	279,039	279,039	2,745	2,745	101.0%	
森林環境基本枠	森林計画課	195,408	195,408	200,979	200,979	△5,571	△5,571	97.2%	
地域提案重点枠	森林計画課	86,376	86,376	78,060	78,060	8,316	8,316	110.7%	
県民参画の推進		38,848	38,840	38,032	38,032	816	808	102.1%	
林業普及推進事業	林業振興課	400	400	400	400	0	0	100.0%	
森林環境学習の森整備事業	森林保全課	15,940	15,940	21,440	21,440	△5,500	△5,500	74.3%	
森林ボランティア総合対策事業	森林保全課	9,189	9,189	9,189	9,189	0	0	100.0%	
森林づくり指導者育成事業	森林づくり指導者育成事業	2,789	2,789	2,300	2,300	489	489	121.3%	
第3期もりの案内人養成事業	森林保全課	1,923	1,923	1,923	1,923	0	0	100.0%	
森林環境学習指導者育成事業	森林保全課	377	377	377	377	0	0	100.0%	
【新】地球と森林を守る指導者養成事業	環境共生課	489	489	0	0	489	489	皆増	
県立学校における森林自然学習支援事業	高校教育課	2,167	2,167	4,703	4,703	△2,536	△2,536	46.1%	
【新】森林とのきずな再生事業	森林づくり指導者育成事業	8,363	8,355	0	0	8,363	8,355	皆増	
森林環境情報発信事業	森林計画課	7,326	7,318	0	0	7,326	7,318	皆増	
森林づくり活動推進事業	森林保全課	1,037	1,037	0	0	1,037	1,037	皆増	
ふくしまの森林文化の継承		8,154	8,154	5,281	5,281	2,873	2,873	154.4%	
ふくしまの森林文化継承事業		8,154	8,154	5,281	5,281	2,873	2,873	154.4%	
ふくしまの森林文化継承事業	森林計画課	5,326	5,326	5,281	5,281	45	45	100.9%	
木(森)に由来する伝統文化継承事業	林業振興課	2,828	2,828	0	0	2,828	2,828	皆増	
森林環境の調査		3,528	3,528	4,400	4,400	△872	△872	80.2%	
猪苗代湖環境保全対策調査事業	水・大気環境課	3,528	3,528	4,400	4,400	△872	△872	80.2%	
森林環境基金の運営		1,524	1,524	3,790	3,790	△2,266	△2,266	40.2%	
森林環境基金運営事業	森林計画課	1,524	1,524	3,790	3,790	△2,266	△2,266	40.2%	
合計		1,559,168	1,164,800	1,317,802	1,123,472	241,366	41,328	103.7%	
森林環境基金		992,073	992,073	982,408	982,408	9,665	9,665	101.0%	

平成25年度森林環境基金事業の概要(当初予算)

(1) 森林環境の適正な保全

(単位:千円)

NO	事業名	事業の概要	25当初予算	24当初予算	増減
1	森林整備事業	飲料水の「水源区域」及び水源かん養機能又は山地災害防止機能を重視する区域内で行う森林整備を支援する。 ・森林整備事業 525,000千円 間伐2,000ha ・森林整備促進事業 221,538千円 間伐1,000ha 再造林50ha	(746,538)	(722,138)	(24,400)
2	森林整備地域活動支援交付金事業	森林の有する多面的機能の発揮を図る観点から、集約化施策を促進するために必要な森林経営計画の作成支援を行う。 ・森林整備地域活動支援交付金事業 5,250ha 45,225千円	(45,225)	(65,700)	(△ 20,475)
3	森林環境適正管理事業	情報の共有化や業務の効率化を図るため、森林情報を電子データ化した各種図面上で管理することを可能にした福島県森林GISの活用を図るとともに、県民向けの森林情報発信を継続する。 ・森林情報(GIS)活用推進事業 23,256千円	15,075	21,900	△ 6,825
4	花粉の少ない森林づくり事業	森林環境に配慮した再造林による森林の若返りを図るため、花粉症対策品種苗木を養成するとともに、採種・採種圃の整備により造林地へ花粉症対策苗木の供給を行う。 ・花粉の少ない森林づくり推進事業 2,433千円 ・花粉の少ない苗木づくり促進事業 317千円	2,750	1,700	1,050
計			(817,769) 637,089	(798,179) 603,849	(19,590) 33,240

※上段()は、国庫を含む事業費

(2) 森林資源の活用による持続可能な社会づくり

(単位:千円)

NO	事業名	事業の概要	25当初予算	24当初予算	増減
5	間伐材搬出支援事業	間伐材の利用促進を図るため、間伐材の搬出に必要な作業路の整備に要する経費及び原木市場等への間伐材の運搬経費を支援する。 ・間伐材運搬経費支援事業 12,500千円 事業量25,000m ³ 、補助金500円/m ³ ・林内作業路整備支援事業 25,000千円 事業量50,000m、補助金500円/m ³ ・間伐材二酸化炭素削減支援事業 75,000千円 事業量50,000m ³ 、補助金1,500円/m ³	112,500	97,500	15,000
6	森林整備促進路網整備事業	水源区域など重要な森林の継続的な森林整備と木材の搬出を促進するため耐久性のある作業道のある作業道の整備を支援する。 ・森林整備促進路網整備事業 37,500千円 事業量10,560m 補助金4,200円/m以内	37,500	30,240	7,260
7	ふくしま低炭素社会づくり推進事業	県民が一体となった低炭素型社会の形成を進めるため、林業関係者以外による森林整備の推進や木材の利用促進、森林の未利用資源の活用を図る。 ・カーボンオフセット森林(もりもり)元氣事業 304千円 ・緑の住宅普及支援事業 4,675千円 ・森林と住まいのエコポイント事業 238,680千円	(243,641)	(48,304)	(195,337)
8	もっともっと木づくかい推進事業	公共施設の木質化や学校教育現場における木育活動の推進等による県民の木材利用に対する意識を醸成するとともに、民間施設における県産材利用やバイオマスエネルギー利用機器の普及を図る。 ・木景観形成促進事業 5,000千円 ・新「ほっと」スペース創出事業 3,500千円 ・木とのふれあい創出事業 2,900千円 ・バイオマス暖房でCO2ダイエツト事業 2,520千円	13,920	12,200	1,720
9	カーボンオフセット普及促進事業	低炭素社会構築に向けた手法の一つである「カーボン・オフセット」(削減努力を行ってもなお排出される温室効果ガスを、排出量に見合った温室効果ガスの削減活動への投資等による埋め合わせ)について、県民や事業者への普及を図るとともに、温室効果ガスの排出の伸びが大きい民生家庭部門における省エネルギー対策の普及促進を図る。	0	837	△ 837
計			(407,561) 193,881	(189,081) 189,081	(218,480) 4,800

※上段()は、国庫を含む事業費

(3) 市町村が行う森林づくり等の推進

(単位:千円)

NO	事業名	事業の概要	25当初予算	24当初予算	増減
10	森林環境交付金事業	県民一人一人が参画する新たな森林づくりを効果的に進めるため、市町村が独自性を発揮して創意工夫を凝らした事業を展開することができるよう、森林環境基金の一部を交付する。 ・森林環境基本枠 195,408千円 ・地域提案重点枠 86,376千円	281,784	279,039	2,745
計			281,784	279,039	2,745

(4) 県民参画の推進

事業名		事業の概要	25当初予算	24当初予算	増減
NO	11	担い手緑化推進事業 (林業普及推進事業費)	400	400	0
NO	12	森林環境学習の森整備事業	15,940	21,440	△ 5,500
NO	13	森林ボランティア総合対策事業	9,189	9,189	0
NO	14	森林づくり指導者育成事業	2,789	2,300	489
NO	15	県立学校における 森林自然学習支援事業	2,167	4,703	△ 2,536
NO	16	森林とのさすな再生事業	(8,363)	(0)	(8,363)
計			38,840	38,032	808

※上段()は、その他の財源を含む事業費

(5) ふくしまの森林文化の継承

事業名		事業の概要	25当初予算	24当初予算	増減
NO	17	ふくしまの森林文化継承事業	8,154	5,281	2,873
計			8,154	5,281	2,873

(6) 森林環境の調査

事業名		事業の概要	25当初予算	24当初予算	増減
NO	18	猪苗代湖水環境 保全対策調査事業	3,528	4,400	△ 872
計			3,528	4,400	△ 872

(7) 森林環境基金の運営

事業名		事業の概要	25当初予算	24当初予算	増減
NO	19	森林環境基金運営事業	1,524	3,790	△ 2,266
計			1,524	3,790	△ 2,266

森林環境基金事業合計

事業名		事業の概要	25当初予算	24当初予算	増減
(1)～(7)の合計			(1,559,168)	(1,317,802)	(241,366)
計			1,164,800	1,123,472	41,328

【新】森林とのきずな再生事業の概要

- ・ 震災・原子力災害により森林環境は大きく変化
- ・ 被災森林の復旧や放射性物質からの森林再生が急務
- ・ これらの復旧・再生には、行政だけでなく県民や企業、NPO等と一体となった取組みが必要

震災・原子力災害

県民運動の浸透・拡大

①意識の醸成に資する情報発信

②森林づくり活動の活性化

参加する方々の
拡大と多様化を図る

豊かな
森林を
次世代へ
継承

平成30年
全国植樹祭
(シンボルイベント)

森林計画課
森林保全課

- ・ 森林に対する
県民意識の変化
- ・ 放射線に対する
意識の差や情報不足
- ・ 森林づくり活動の停滞

森林と県民との関わりが
薄れてしまう危機

【森林づくり活動推進事業】
県民参加による
森林づくり

連携・情報交換

【公共事業等】
行政主導による
森林の復旧・再生

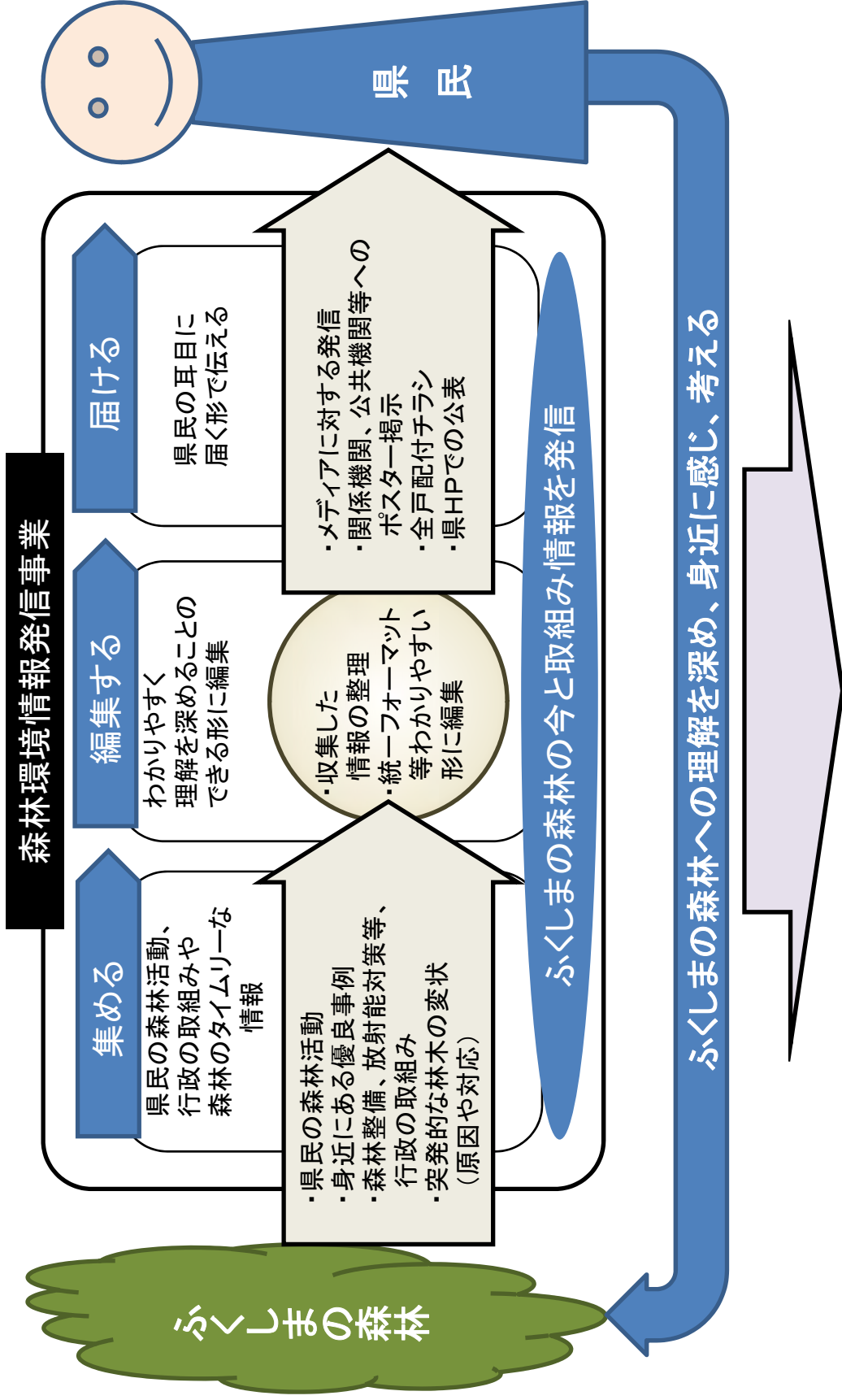
さらなる浸透・拡大

【森林環境情報発信事業】
森林環境の現状や
取組内容を発信

県民意識の反映

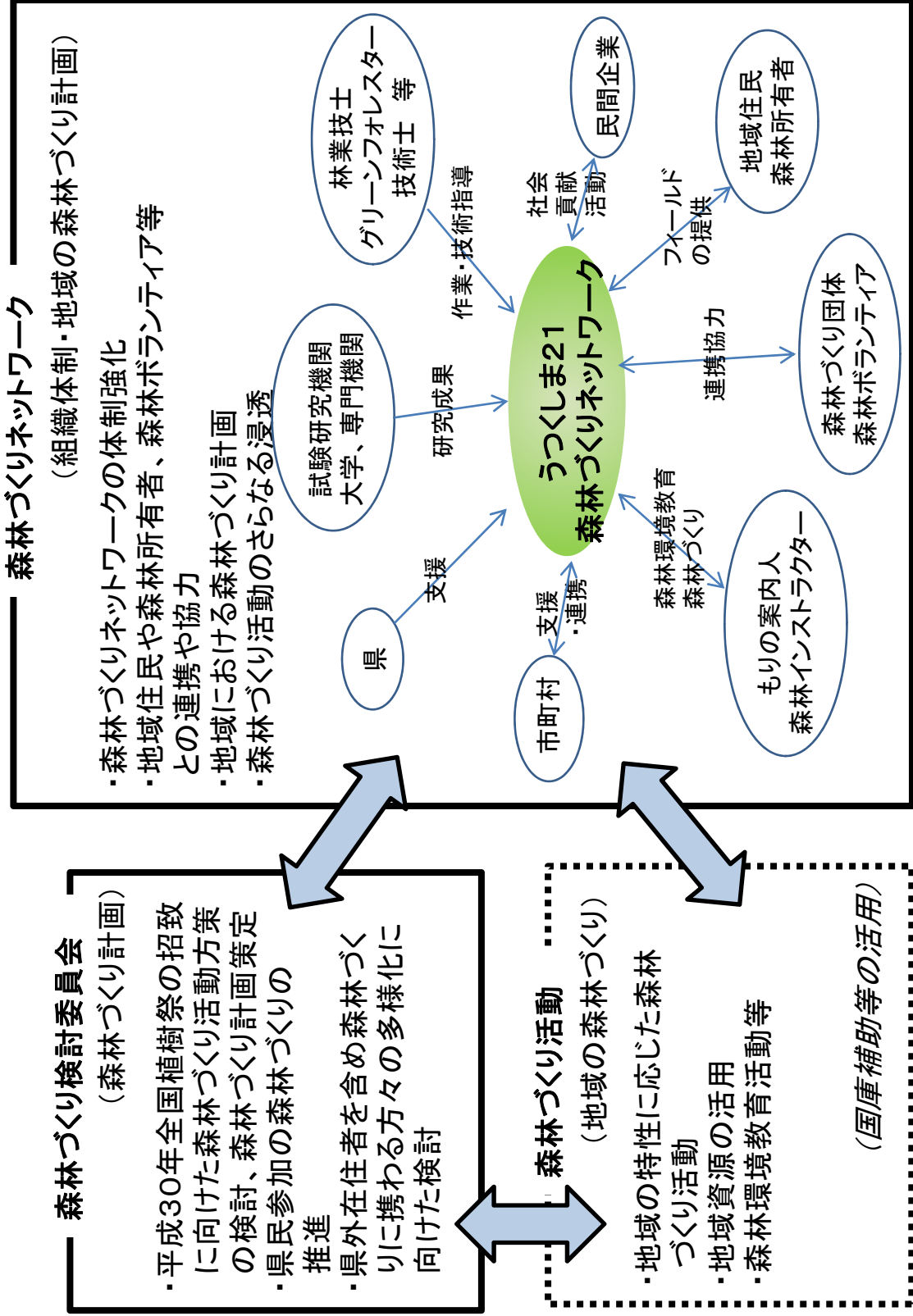
ふくしまの森林が県民と共に再生していく姿を全国に発信

森林環境情報発信の仕組み



森林を県民一人一人が守り育て、次世代へ引き継いでいく心づくり

森林づくり活動推進の仕組み



『 森と住まいのエコポイント事業 』

予算額239百万円

～ふくしまの木をつかった家づくりを支援します～

(H25. 2)

取組みの目的

県産木材など地域の資源を生かした住まいづくりの支援により、森林環境の保全と再生、良質な木造住宅の建設を促進するとともに、県産品等の更なる需要を喚起し、本県の活性化と復興を進めます。

取組みの内容

県産木材等を使用して、住宅の新築やリフォームを行った建築主に対して、地域の農林水産物等と交換可能なポイントを交付します。

<交付対象となる住宅のイメージの一例>



新築住宅



住宅のリフォーム

事業の流れ

① 県産木材等を一定以上使用した住宅の建設
(新築、増改築、リフォーム等)



② 木材使用量に応じたポイントを交付

震災で住居を失った方が住宅を新築する場合はポイントを加算します

国の制度を活用
上限30万ポイント
(国の制度により変更あり)

県の加算
10万ポイント



③ 地域の農林水産物等との交換
1ポイント=1円相当

- 県産材製材品
(内装材、建具、家具、外構製品など)
- 地域の農産品等

<交換商品のイメージの一例>



木製家具



ウッドデッキ



農産品

地球と森林を守る指導者養成事業

現状

森林は温室効果ガスである二酸化炭素を吸収するため、地球温暖化対策の観点から森林を保全していく必要性がある。
しかし、一般的には森林環境保全の重要性の認識が不足している。
そのため、県民に対し森林環境保全の意識の醸成を図る必要があるが、その人材が不足している。

地球と森林を守る指導者養成講座の開催

上記現状を踏まえ、地球温暖化対策の観点から、県民に対し森林環境保全の意識の醸成を図る人材(地球と森林を守る指導者)を養成する講座を開催する。
なお、本事業は農林水産部森林保全課の「森林環境指導者育成事業」と連携して実施し、カリキュラムの共同作成や、日時会場を受講者が受講しやすいよう設定するなどお互いの事業を効果的に展開する。

【講座の内容】

地球温暖化対策に資する森林の役割、フィールドワーク等実践的カリキュラム

【対象者】

地球温暖化防止活動推進員等

地球と森林を守る指導者の活動による県民の意識の醸成

「地球と森林を守る指導者」の活動や県主催のセミナー等を通して、県民の森林環境保全に対する意識の醸成を図る。
また、「地球と森林を守る指導者」が各地で実施した活動事例を発表することにより、各指導者間の情報交換等を行い、今後の活動の指針とする。

イメージ

農林水産部の事業(もりの案内人、森林環境指導者)

生活環境部の事業(地球と森林を守る指導者)

共管のメリット

- ・「もりの案内人」が「地球温暖化防止活動推進員」になることができる。
- ・その逆もしかり。
- ・両部の得意分野を活かしてお互いの事業を発展させる。

森林環境の保全、地球温暖化対策の推進

地球と森林を守る指導者養成事業の必要性

現状

- 【脱原発により火力発電所へシフト】
 - ・CO2排出量増大の懸念
 - ・既にCO2濃度400ppmを超過
- 【風評被害】
 - ・野外活動の自粛
- 【放射能汚染】
 - ・森林施業の停滞
 - ・林産物流通量の減少
 - ・県産材利用の減少
- ・カーボンオフセットの取組阻害
- 【森林放置】
 - ・CO2森林吸収量減少
 - ・多面的機能の低下

目指すべき方向性

- ・推進員による地球温暖化防止に関する普及啓発の取組
- ・正しい放射能環境に関する知識の習得
 - (・間伐を進めることによる森林除染)
- ・県自ら率先して森林に関わる姿勢をアピール（マスコミの活用も検討）
- ・カーボンニュートラルである木材の利用（原材料、燃料として）

そのため

養成講座を開催

- (講義)
 - 地球温暖化
 - 森林生態系
 - 森林の現状
 - 環境中の放射線量
 - (野外活動)
 - (カリキュラム作成実習)
- ↓
- 幅広いジャンルにわたる推進員のスキルアップ

期待される効果

- ・推進員による効果的な普及啓発活動
- ・正しい理解による風評被害の払拭
 - 森林の適正な利用、観光客の増加、地域経済の活性化
- ・森林施業の促進
 - 林業の活性化、林産物の利用増加
- カーボンオフセットの取組促進
 - 森林吸収源機能の増大
 - 国土保全機能の維持

副次的な効果も狙いつつ地球温暖化対策を進める!